

第10回富山県広域消防防災センター運営委員会 議事録（発言）要旨

- 1 日 時 令和5年12月25日（月）13:25～15:10
- 2 場 所 富山県広域消防防災センター 1階第一会議室
- 3 出席者 委員10名
- 4 議 事

- (1) 委員長の選任 …委員長は室崎委員を選出。副委員長は大江委員を指名。
- (2) 報告事項「センターの運営状況について」
- (3) 協議事項「今後のセンター運営について」
- (4) 協議事項「四季防災館のリニューアルの検討について」

5 委員発言（協議事項「四季防災館のリニューアルの検討について」のみ抜粋）

- (1) 開館から11年も経過して展示内容が一部陳腐化。新しい映像やVRの活用など事務局から説明があったリニューアルの検討案を全て実現してほしい。
- (2) 現地で見ると災害の姿は毎回違う感じがするので、災害の新しい記憶を子どもたちが見て、体験できるものをリニューアルに盛り込んでほしい。
- (3) 富山ではこれまで比較的大きな災害が少なく、県民の危機意識が少し弱いかも知れない。災害事例の映像を見せることなどにより、注意喚起が必要。
- (4) 地震体験コーナーで映像を流す企画が一番良い。子どもたちに映像を見せることで、災害の怖さを知ってもらいたい。
- (5) 個別の災害事象ごとの説明と、避難や生活支援など横の説明とを、うまくプログラムの中で解説できるような場面を作っておいた方がよい。
- (6) 四季防災館もバージョンアップしていかないと何回も来たいとはならない。災害の体験をもとに、どう備えるかまでつなげてほしい。
- (7) 四季防災館が開館してからの10年間の変化を、しっかりリニューアルに反映させるということが大切。
- (8) VRの防災体験が脚光を浴びており、東京消防庁でも4年前に導入した。消防以外の分野でもVRが増えてきたので、導入費用は以前よりも安くなっている。
- (9) 「動く四季防災館」として、VR機器やシアターのコンテンツなどを持ち出して利用できる仕様のものなど検討できないか。
- (10) ハザードマップだけでなく、井波風など地域特有の災害に即した資料も持ち帰れるようにしてほしい。3年のリニューアル計画期間をできるだけ短縮してほしい。